

## 令和3年9月遠野市議会定例会会議録（第4号）

令和3年9月16日（木曜日）

### 議事日程 第4号

令和3年9月16日（木曜日）午後2時開議

- 第1 議案第70号 令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第2 議案第71号 令和2年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第3 議案第72号 令和2年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第4 議案第73号 令和2年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第5 議案第74号 令和2年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第6 議案第75号 令和2年度遠野市遠野東工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第7 議案第76号 令和2年度遠野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 第8 議案第77号 令和2年度遠野市水道事業会計決算の認定について
- 第9 議案第78号 令和2年度遠野市下水道事業会計決算の認定について
- 第10 議案第79号 押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 第11 議案第80号 遠野市過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 第12 議案第81号 遠野市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 第13 議案第82号 早瀬橋補修工事の変更請負契約の締結について
- 第14 議案第83号 令和3年度遠野市一般会計補正予算（第4号）
- 第15 議案第84号 令和3年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

- 第16 議案第85号 令和3年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 第17 議案第86号 令和3年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 第18 議案第87号 令和3年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）
- 第19 議案第88号 令和3年度遠野市水道事業会計補正予算（第1号）
- 第20 議案第89号 令和3年度遠野市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 第21 請願第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書
- 第22 請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書
- 第23 発議案第4号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

### 本日の会議に付した事件

- 1 諸般の報告
- 2 日程第1 議案第70号 令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、  
日程第9 議案第78号 令和2年度遠野市下水道事業会計決算の認定についてまで。  
（決算特別委員長報告、質疑、討論、採決）
- 3 日程第10 議案第79号 押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてから  
日程第20 議案第89号 令和3年度遠野市下水道事業会計補正予算（第1号）まで。  
（予算等審査特別委員長報告、質疑、討論、採決）
- 4 日程第21 請願第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を

守るための請願書  
(教育民生常任委員長報告、質疑、討論、採決)

5 日程第22 請願第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書  
(教育民生常任委員長報告、質疑、討論、採決)

6 日程第23 発議案第4号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書の提出について  
(総務常任委員長報告、質疑、討論、採決)

**出席議員 (18名)**

1	番	小松	正真	君
2	番	佐々木	恵美子	君
3	番	菊池	浩士	君
4	番	佐々木	敦緒	君
5	番	佐々木	僚平	君
6	番	小林	立栄	君
7	番	菊池	美也	君
8	番	萩野	幸弘	君
9	番	瀧本	孝一	君
10	番	多田	勉	君
11	番	菊池	由紀夫	君
12	番	菊池	巳喜男	君
13	番	照井	文雄	君
14	番	荒川	栄悦	君
15	番	安部	重幸	君
16	番	新田	勝見	君
17	番	佐々木	大三郎	君
18	番	浅沼	幸雄	君

**欠席議員**

なし

**事務局職員出席者**

事務局	長	朝倉	宏孝	君
次長		千葉	芳治	君

主 査 多 田 倫 久 君

**説明のため出席した者**

市 長	本 田	敏 秋	君
副 市 長	飛 内	雅 之	君
総務企画部長	鈴 木	英 呂	君
総務企画部経営管理担当部長 兼新型コロナウイルス対策室長	菊 池		享 君
健康福祉部長 兼健康福祉の里所長 兼地域包括支援センター所長	菊 池		寿 君
健康福祉部医療連携特命部長 兼総務企画部新型コロナウイルス ワクチン接種対策室長	佐々木	一 富	君
子育て応援部長 兼総合食育課長	磯 谷	洋 子	君
環境整備部長	奥 寺	国 博	君
会計管理者 兼会計課長	鈴 木	純 子	君
消防本部消防長	三 松	丈 宏	君
市民センター所長	新 田	順 子	君
市民センター多文化共生 ・本の森特命部長	石 田	久 男	君
教 育 長	菊 池	広 親	君
教育委員会事務局教育部長 兼学校教育課学校総務担当課長	伊 藤	貴 行	君
選挙管理委員会委員長	菊 池	光 康	君
代表監査委員	佐 藤	サヨ子	君
農業委員会会長	千 葉	勝 義	君

**午後2時00分 開議**

○議長(浅沼幸雄君) ご苦勞様です。これより本日の会議を開きます。

**諸般の報告**

○議長(浅沼幸雄君) 日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

決算特別委員長及び予算等審査特別委員長から委員会審査報告書が、教育民生常任委員長から請願審査報告書の提出がありましたので、その写しをお手元に配付しておきましたから御了承願います。

次に、発議案1件が提出されましたので、その写しをお手元に配付しておきましたから御

了承願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

---

**日程第1 議案第70号令和2年度遠野市  
一般会計歳入歳出決算の認定について  
から、**

**日程第9 議案第78号令和2年度遠野市  
下水道事業会計決算の認定についてま  
で。**

○議長（浅沼幸雄君） これより本日の議事日程に入ります。

日程第1、議案第70号令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、日程第9、議案第78号令和2年度遠野市下水道事業会計決算の認定についてまでの9件を一括議題といたします。

各案件に関し、委員長の報告を求めます。  
決算特別委員長、菊池浩士君。

〔決算特別委員長菊池浩士君登壇〕

○決算特別委員長（菊池浩士君） 令和3年9月遠野市議会定例会において、決算特別委員会が設置され、委員長に不肖私が、副委員長に菊池巳喜男君が選任されました。

これより、審査の経過と結果について御報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、議案第70号から議案第78号までの9件であります。

議案第70号令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定については、歳入において、市税の収入減に係る新型コロナウイルス感染症の影響について、ふるさと寄付金の増額の理由について、雑入の高齢者等貸付半譲渡金の内容についてなど。

歳出においては、2款総務費では、行政事務包括業務委託に係る内容について、電算処理事業費に係るノートパソコンのセキュリティについて、小さな拠点による地域づくり推進事業に係る課題等についてなど。

3款民生費では、社会福祉総務費に係る委託料の不用額の内容について、交通弱者等外出支援事業委託料に係る実績について、高齢者等

生活物資供給支援事業委託料の内容についてなど。

4款衛生費では、ねっと・ゆりかご安心ネットワーク事業に係るコロナ禍での出産相談について、新エネルギービジョン推進事業費に係る小友町メガソーラー工事による濁水の状況について、浄化槽ブロワーポンプ交換補助金の前倒しした理由についてなど。

5款労働費では、若者しごとサポート事業費に係る外国人技能実習生受入数の減少の理由及び地元就職者数について、とおので・くらす&はたらく若者定着促進事業業務委託料の内容についてなど。

6款農林水産業費では、農業委員会費に係る農業委員等の活動実績及び内容について、遠野馬の里運営事業費に係る昨年度の乗用馬市場結果について、農業用ため池ハザードマップ作成の目的についてなど。

7款商工費では、道の駅魅力アップ事業費に係る新人事制度の構築支援について、まちなか商い振興事業費に係る新型コロナウイルス感染症の影響について、遠野まつり・さくら祭り中止による地域経済及び地域振興の影響についてなど。

8款土木費では、迷岡線道路改良工事に係る進捗状況について、矢崎荒屋線測量設計業務委託に係る進捗状況について、八幡住宅解体後の跡地有効活用についてなど。

9款消防費では、災害時の指定避難所となっている中斉ふれあいセンターの改修についてなど。

10款教育費では、小中学校空調設備設置に係る運用のガイドラインについて、GIGAスクール環境整備に係る学校の評価について、図書館・博物館職員人件費増の理由についてなど。

議案第73号令和2年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、生活支援コーディネーター業務委託に係るコロナ禍の活動への影響についてなど。

議案第78号令和2年度遠野市下水道事業会計決算の認定については、マンホールカード

作成の経緯及び効果について、マンホールトイレの検討についてなど、活発な質疑が交わされました。

その結果、議案第70号から議案第78号は、全員の賛成をもって、それぞれ原案のとおり認定または可決いたしました。

本委員会は、議長を除く全員で構成された委員会でありますので、審査の詳細については、省略させていただきます。

以上をもちまして、決算特別委員会の報告といたします。

○議長（浅沼幸雄君） これより委員長報告に対する質疑を許します。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

それでは、議案第70号令和2年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定についてから、議案第78号令和2年度遠野市下水道事業会計決算の認定についてまでの9件を一括して採決いたします。採決は表決システムにて行います。各案件の委員長報告は認定及び可決であります。本案は委員長報告のとおり決することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

以上で、表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は委員長報告のとおり決定いたしました。

う関係条例の整備に関する条例の制定についてから、

日程第20 議案第89号令和3年度遠野市下水道事業会計補正予算（第1号）まで。

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第10、議案第79号押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてから、日程第20、議案第89号令和3年度遠野市下水道事業会計補正予算（第1号）までの11件を一括議題といたします。

各案件に関し、委員長の報告を求めます。予算等審査特別委員長、多田勉君。

〔予算等審査特別委員長多田勉君登壇〕

○予算等審査特別委員長（多田勉君） 令和3年9月遠野市議会定例会において、予算等審査特別委員会が設置され、委員長に不肖私が、副委員長に照井文雄君が互選されました。

本委員会に付託されました案件は、議案第79号から議案第89号までの11件であります。9月14日に行った、審査の経過と結果について御報告をいたします。

審査の中で、議案第79号押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、押印が必要な規則等の今後の見直しについて、オンラインによるデジタル化の進め方について、押印の見直しに伴う市民の利便性についてなど。

議案第80号、遠野市過疎地域の持続的発展のための固定資産税の課税免除に関する条例の制定については、新たに情報サービス業が加わった理由と業種について、課税免除の適用期間についてなど、

議案第81号遠野市過疎地域持続的発展計画の策定については、計画の特徴について、移住・定住対策に係る環境づくりについて、鱒沢地区小さな拠点エリア整備について、策定した計画の検証の進め方についてなど。

議案第83号令和3年度遠野市一般会計補正予算（第4号）では、歳出、4款衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種に係る職場理

---

日程第10 議案第79号押印の見直しに伴

解の状況及び未接種者への接種希望の確認についてなど。

7款商工費では、空き家リフォーム事業助成金に係る県内からの移住と県外からの移住の助成金額の違いについて、商い元気回復事業費補助金及び中小企業等事業資金緊急対策事業費補助金の内容についてなど。

8款土木費では、春の道路点検結果と補修、未補修の状況についてなど、

10款教育費では、修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金の内容について、新型コロナウイルス感染症経済対策事業の内容について、小友小学校校舎長寿命化改修実施設計業務委託の廃止理由について、遠野西中学校屋外トイレの設置場所についてなど。

11款災害復旧費では、災害復旧費の内容について、雨水排水対策に係る公助と自助による取り組みについてなど、活発に議論されました。

その結果、議案第79号から議案第89号までの11件は、全員の賛成をもって、それぞれ原案のとおり可決されました。

本委員会は、議長を除く全員で構成される特別委員会でありますので、審査の詳細につきましては省略させていただきます。

以上をもちまして、予算等審査特別委員会の報告といたします。

○議長（浅沼幸雄君） これより委員長報告に対する質疑を許します。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決いたします。採決は表決システムにて行います。本案の報告は可決でありませぬ。本案は委員長報告のとおり決することに賛

成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

以上で表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は委員長報告のとおり決定いたしました。

---

#### 日程第21 請願第1号安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第21、請願第1号安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書についてを議題といたします。

本請願に関し、委員長の報告を求めます。教育民生常任委員長、菊池巳喜男君。

〔教育民生常任委員長菊池巳喜男君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） それでは、請願第1号の審査結果を報告いたします。

去る6月8日に開会された、令和3年6月遠野市議会定例会において、教育民生常任委員会に付託されました請願第1号安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書について、9月13日、当常任委員会を開催し審査をした結果をご報告いたします。

6月定例会において、さらなる調査研究を行い慎重に取り扱う必要があるとの判断から、継続審査の申し出をし、これまで幾度なる審議を重ねてまいりました。

本請願は、地域住民の命と健康を守るため、1、今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。

2、公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

3、安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護

職等を大幅に増員すること。

4、保健所の増設・保険師当の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

5、社会保障にかかわる国民負担の軽減を図ること。

以上、5つの項目が実現されるよう、国へ意見書を提出することを求めるものであります。

審査では、「医療や介護は命を守る仕事であり、最優先で財源を充てるべき」「全国的にコロナの重傷者を引き受けているのは公立病院であり、地域医療構想は見直すべき」「医療・介護職等は過酷な労働環境にあり、増員は必要」

「コロナ対応強化のためにも、保健所の増設は必要」といった賛成の意見と、「優先すべきは経済の立て直しではないか」「統合再編は、地域に病院を残すために経営の効率化を図ろうとするものである」「診療科目の偏在をどうするかが課題であり、介護補助者の活用促進など、結果的に増員になるような施策を打つべきではないか」「各自治体あるいは地域の医師との連携によって、保健所機能の分担や強化はできるのではないか」「請願項目の1から4の充実・強化等を図ることと、5の負担軽減を図ることの両立は矛盾を感じる」などの反対意見がありました。

これらの意見を踏まえ審査を進めた結果、当常任委員会では本請願の趣旨は十分に理解いたしますが、実現性の面で確信が持てないところもあると判断し、賛成多数で趣旨採択と決定したところであります。

以上であります。

○議長（浅沼幸雄君） これより委員長報告に対する質疑を許します。質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより請願第1号を採決いたします。採決は表決システムにて行います。請願第1号安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書に対する委員長報告は趣旨採択であります。委員長報告のとおり請願の趣旨採択について採決いたします。本請願を趣旨採択とすることに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

以上で表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成多数であります。本請願書は趣旨採択と決定いたしました。

---

#### 日程第22 請願第3号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第22、請願第3号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書についてを議題といたします。

本請願に関し、委員長の報告を求めます。教育民生常任委員長、菊池巳喜男君。

〔教育民生常任委員長菊池巳喜男君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） 請願第3号の審査結果を報告いたします。

去る6月8日に開会された、令和3年6月遠野市議会定例会において、教育民生常任委員会に付託され、継続審査の申し出をし、これまで審査を続けてきた請願第3号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるため、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書についての審査結果を御報告

いたします。

本請願については、昨年も同様の請願があり、当委員会では、市教育委員会や県教育委員会に調査を行うなど慎重な審議を重ね、不採択としたところではありますが、今回の本請願の審査にあたっては、本請願の紹介議員から提供があった、願意の詳細についての資料や、市教育委員会から提供いただいた資料等により、慎重な審議を重ねてまいりました。

審査では、教職員定数については、県が給与を負担する教職員のほかに、市が独自で雇用している「特別支援教育支援員」や「特定教科支援員」等が配置されており、市内の全小中学校では、昨年同様に基準以上の教職員が確保されている状況にあることが確認をされました。

また、本請願にある「義務教育費国庫負担制度」とは、制度名に義務教育費とありますが、これは義務教育費の総額を指すのではなく、「義務教育に係る教職員の給与費」の国庫負担割合を定めている制度であります。

平成16年、いわゆる三位一体改革によって、義務教育に係る教職員の給与についての国庫負担割合は、2分の1から3分の1に引き下げられました。現在は、残りの3分の2を各都道府県が負担をしておりますが、この国庫負担割合の引下げは、「義務教育の国庫負担割合についても、地方に任せるべきである」という地方からの主張に配慮されたものであります。

また、2分の1から3分の1に引き下げられた差額、6分の1相当額は、総額裁量制によって国から交付税の措置がなされております。むしろ、各都道府県においては自由度が高まり、給与水準や教職員数、加配定数の弾力性が確保されているところであります。

審査を進めるなかで、委員からは「本請願は国へ意見書提出を求めるものであり、岩手県や遠野市の状況だけで判断せず、全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請ですとある請願趣旨に沿って採択すべき」といった賛成の意見と「昨年同様、教職員給与の国庫負担割合を2分の1に戻すこと

についての明確な妥当性が見当たらない」といった反対の意見がありました。

これらの意見を踏まえ、当常任委員会では賛成少数で不採択と決定したところであります。

以上であります。

○議長（浅沼幸雄君） これより委員長報告に対する質疑を許します。質疑ございませんか。

1番小松正真君。

○1番（小松正真君） 教育民生常任委員会のほうでこれまで調査してきたんだというふうに思いますが、すいません、疑問に思うことがありますので質問をいたしますが、まず、そもそも教職員定数というのは何なんでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 教育民生常任委員長、菊池巳喜男君。

〔教育民生常任委員長菊池巳喜男君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） 教職員定数とはそもそも何であるかということですが、当教育民生常任委員会ではこの請願にあたりまして、遠野市教育委員会のほうから小中学校の教職員の勤務実態につきまして、その配置数を調査して進めてまいりました。

その結果、学級数それから教員数それに係る欠員補充等の講師等々比較しながらやってまいりましたので、御了解をお願いいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 質問者の質問は、教職員の定数とは何かということだったと思いますけれども、それについて答弁者は答弁したということによろしいでしょうか。それともそれに関して改めて答弁しますか。

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） 今の答弁をお願いします。

○議長（浅沼幸雄君） 具体的な質問者の意向には沿わないかもしれませんが、今確認したところ、答弁者はその質問に対して答弁したという認識だということでございます。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 議事進行、1番小松正真君。

○1番（小松正真君） すいません、本会議場なので3回しか質問の回数がありません。しつ

かりと質問に答えていただかないと、何回でも質問できるなら今の答えでもいいかもしれないですけど、ちゃんとした答えをいただきたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 質問者からの要望でございますので、それを踏まえて次回からは。今回の件に関しましては、答弁者が質問に対して自分としては答えているという認識だということでございますので、かみ合わないかもしれませんが、答弁した方がそういうふうに申している以上は、これ以上は議長としても具体的にということには話しできませんので、違う角度からの質問にさせていただきたいと思います。1番小松正真君。

○1番（小松正真君） そもそも教職員定数というのは正職員の数を表すのが教職員定数です。それは学校現場でも同じだし遠野市の職員定数も同じです。なので先ほどお話しの中にあつた教育支援員の皆さん、おそらく凄くいい仕事をしてくれてるんだらうなというふうに敬意は表すところですけども、あくまで今回のこの請願っていうのは教職員定数、正職員の数を議論すべきだというふうに思うんですよ。であれば、今岩手県そして全国の教職員定数というのは足りてるんですか。

○議長（浅沼幸雄君） 教育民生常任委員長、菊池巳喜男也君。

〔教育民生常任委員長菊池巳喜男君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） 今回、教育民生常任委員会といたしましては、当市の実態を調査いたしました。全国的にはそのようなことも言われるかもしれませんが、当委員会といたしましては遠野市の実態を踏まえて報告とさせていただきます。

○議長（浅沼幸雄君） 1番小松正真君。

○1番（小松正真君） 岩手県の教職員定数はもう既に発表されています。これについては教職員定数に足りていないというふうに出ているところなんです。それをなんで遠野市だけが教職員定数が足りているというお話しになるのか、全く理解ができません。おそらく先ほど言

った教育支援員の皆さんとかその臨時の職員さんというのはいるのかちょっとあれですけども、そういう皆さんまで含んで教職員定数が足りてるというふうなお話を多分教育民生常任会の皆さんやってるんじゃないかなというふうに思うんですが、これ全く的外れな議論ですよ。やっぱりこれ今回教育民生常任委員会の調査足りなかったんじゃないですか。

○議長（浅沼幸雄君） 教育民生常任委員長、菊池巳喜男君。

〔教育民生常任委員長菊池巳喜男君登壇〕

○教育民生常任委員長（菊池巳喜男君） 今、小松議員のほうから足りていないのではないかという質問がございましたけども、われわれ教育民生常任委員会では教育委員会からの勤務実態に基づきながら、欠員に関しましては補充の講師等を入れながらやっているところでございまして、教職員の実態から見ればそのようなこともうかがえると思うところもありますけども、そういう形でその中で補充を講師の中で遠野市教育委員会では、がんばって教育現場をやっているんだということを理解しながらこういう形にさせていただきましたので、報告にいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 他に質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。念のため申し添えますが、委員長報告は不採択でございますので、不採択に対する反対討論ありませんか。1番小松正真君。

〔1番小松正真君登壇〕

○1番（小松正真君） 小松正真でございます。請願第3号について採択すべき、委員会報告の反対をいく討論をいたします。

先ほど質疑のなかでも、委員長の御答弁、もう無茶苦茶です。

教育民生常任委員会の調査は不十分であります。

今回の定例会、そのなかで採決された議案



第81号遠野市過疎地域持続的発展計画において、62ページ、ここに遠野市の教育現場の状況が記載をされています。

読み上げると、「遠野市の学校は、比較的小規模校が多くなっています」「さらに1校あたりの教員数を比較してみると、小中学校ともに全国平均に大きな開きがあります」。

これが遠野市が出している現状です。まさに、遠野市にとって教職員定数の改善は、議員各位が採択したように緊急で解決をしなくてはいけない課題ではないでしょうか。

附馬牛小学校では、今年度複式学級が2クラス、2年生と3年生、4年生と5年生がそれぞれ一緒の教室で学習をしています。それぞれの学年によって教える教科も違い、45分の中で2つの学年の授業を進めるために、一つの学年に教えている間、もう一つの学年は1人で考えて問題を解いたり、子どもたちだけで話し合ったりする時間になります。

「45分間一つの学年に向き合えたら、もっとじっくり考えたり話し合ったりできるのに」、これが現場から聞こえてくる声です。

まだまだ事例はあるかと思いますが、遠野市にとっては教職員定数の改善は未来の遠野市を担う子どもたちの成長に大きな影響を与える、そのように思っているところです。

また、岩手県小学校長会の令和2年度活動報告書を拝見すると、遠野市の1校あたりの教材費予算は、令和2年度66,724円、岩手県内で3番目に低い数字になります。平均値が113,919円ですので、平均値としても倍近い開きがあるのが現状です。

自由なお金の使い方、これをやった結果、教育格差というものが広がっていかないか本当に心配をしているところです。このようなお金の差、本当に全国にあってはいけない格差ではないかなというふうに思います。

日本から教育格差をなくすため、遠野市の教育環境を良くするためにも本請願が遠野市議会において採択され、意見書を提出することこそ一番の道であると思い、賛成の討論といたし

ます。議員各位の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 賛成ではなく、不採択に対する反対の討論。

○1番（小松正真君） すいません、委員会の報告に対する反対をいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 委員長報告に対する賛成討論ありませんか。6番小林立栄君。

〔6番小林立栄君登壇〕

○6番（小林立栄君） 教育民生常任委員会の委員長報告に賛成の立場から討論を行います。

まず、（1）の計画的な教職員定数改善を推進することについては、全く賛成であります。

（2）の2分の1に復元をすること、ここが大きな課題、問題となっておるところ、議論となっているところだと判断しております。

平成16年、義務教育に係る教職員の給与について、国庫負担割合を2分の1から3分の1に引き下げる三位一体の改革が行われました。委員長報告のとおりでございます。

これは、義務教育の国庫負担割合についても、地方に任せるべきだというそもそも地方から国へ主張、要望したものによるものです。その結果、各都道府県が主体的に教職員の給与、諸手当、教職員数などを決定できるなど改善が行われました。

また、国庫負担が引き下げられた分、差額6分の1相当は国から交付税として措置をされており、税源移譲により確保されております。

2分の1に復元することで、これまで地方の裁量、地方として柔軟に取り組んでいたことをその裁量を減らし、国の裁量、国の関与を増やすことにもなりかねず、地方分権の流れに逆行してしまうものと判断をしています。

方法としては、2分の1に割合を変えるのではなく、国庫負担割合と交付金など教育予算全体として財源の拡充を図り、それぞれの地域の特色を活かした岩手らしい遠野らしい教育環境の充実を求める、進めていくべきと考えます。

請願の趣旨である、子どもたちの豊かな学びの保障と教育環境を整えることについては全

く同感であります、その方法として現段階で2分の1に復元する必要はないのかと考えております。

以上の理由で、教育民生常任委員会の判断を支持するものであります。御賛同よろしくお願いを申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） 委員長報告に対する反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 委員長報告に対する賛成討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより請願第3号を採決いたします。採決は表決システムにて行います。請願第3号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願書に対する委員長報告は不採択であります。採決は請願について採決をいたします。本請願書は採択することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

以上で表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成多数であります。本請願は採択と決定いたしました。

---

### 日程第23 発議案第4号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第23、発議案第4号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。総務常任委員長、瀧本孝一君。

〔総務常任委員長瀧本孝一君登壇〕

○総務常任委員長（瀧本孝一君） 発議案第4号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について、提案理由の説明を申し上げます。

この意見書は、全国市議会議長会定期総会等において協議され、7月16日付けで各市議会に意見書提出の要請があったもので、当委員会では、その内容を了とし、提出するものであります。

以下、提案理由を御説明いたします。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められています。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれます。

特に、固定資産税は市町村税の極めて重要な基幹税であり、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものであり、地方税収の大幅な減収が予想されているなか、制度の根幹に影響する見直しは容認できません。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、地方税財源の確保について確実に実現されるよう、強く要望するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣に提出するものであります。

議員各位の賛同をよろしくお願いたします。

○議長（浅沼幸雄君） これより質疑を許します。質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより発議案第4号を採決いたします。

採決は表決システムにて行います。本案は原案のとおり決することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

以上で表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成全員であります。よって、発議案第4号は原案のとおり可決されました。

〔参 照〕

発議案第4号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

遠野市議会会議規則第14条の規定により、上記の議案を別紙のとおり提出します。

令和3年9月7日

遠野市議会議長 浅 沼 幸 雄 様

提出者 遠野市議会総務常任委員会

委員長 瀧 本 孝 一

提案理由

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温

暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められている。

よって、国においては、令和4年度、地方税制改正に向け、地方税財源の確保について確実に実現されるよう強く要望するものである。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し  
地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、

本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月16日

岩手県遠野市議会議長 浅沼 幸雄  
提出先

衆議院議長 大島 理森 殿  
参議院議長 山東 昭子 殿  
内閣総理大臣 菅 義偉 殿  
内閣官房長官 加藤 勝信 殿  
総務大臣 武田 良太 殿  
財務大臣 麻生 太郎 殿  
経済産業大臣 梶山 弘志 殿  
経済再生担当大臣 西村 康稔 殿

#### 市長挨拶

○議長（浅沼幸雄君） ここで、すでに皆さま御承知のとおり、本田敏秋遠野市長が任期満了に伴い退任を表明されております。今定例会は最後の定例会となりますので、市長から一言御挨拶をいただきたいと思っております。

本田市長よろしくお願ひします。

〔市長本田敏秋君登壇〕

○市長（本田敏秋君） ただいま議長から、定例会としては最後というなかでの御挨拶の機会をいただきました。

8月31日から召集され今日まで9月定例市

議会が開会されました。6人の議員の一般質問、さらには令和2年度の決算審査、大変活発な議論をいただきました。

そしてまた、スピードとタイミングを間違わないようにというなかにおける市民の皆様のニーズにしっかり応えるという部分におきまして、特にもコロナ禍に向き合っております多くの市民の皆様の命と健康と暮らしを守るというために、9月補正予算も計上し、それぞれ全会一致で可決承認をいただきました。

私にとりましては今日の定例会、最後のということになるわけでありまして。定めにより、また、決まりにより来月の10月22日が任期満了ということになります。

この間は、正式には19年6カ月ということになりますけれども、通算5期20年というなかにおきまして、それぞれの市政課題に向き合ってきました。議員各位にもそれぞれの立場からの活発な議論と提言をいただきながら、どうすればこの市政課題に、あるいは市民の皆様の負託にどう応えるのかということのまきに向き合いの毎日でありました。正直に申し上げますと自分との戦いでもあったというそのような思いであります。

判断しなければなりません、決断しなければなりません、また、方針を決めなければなりません。それをもって議員の皆様の一つの御理解をいただかなければ前に進まないというのが、これが一つの民主主義のルールなわけでありましてから、それにどう向き合うのかということにつきましては、毎日が緊張の毎日だったということもそのような形で思い起こすわけでありまして。

平成という時代が静かに幕を下ろしました。そして今は令和という時代に入っております。

この間、本当にさまざまな形での状況変化、社会の変化、そしてまた、自然が容赦なく牙をむくというそのような時代のなかでの平成が幕を閉じたわけでありまして。

よく言われておりますとおり「平成の大合併」「合併前・合併後」さらには平成という時

代にありましては「阪神淡路大震災」「東日本大震災」というこれまでの歴史上、震災と名の付くような大災害が2回も起きたわけでありませう。

その東日本大震災、遠野がしっかりとそこに向き合いながら、命とどうつながるかということについての遠野の取り組みがあったわけでありませう。それにつきましても議員各位のさまざまな形での御理解と御支援をいただきながらそれにも対応できました。

そういったことを踏まえながら、この議会が私にとりましては文字通り最後ということになります。

いろんなことが繰り返し申し上げますけれども、さまざまな出来事が走馬灯のように巡るわけでございますけれども、巡り回るわけでございますけれども、それぞれが真摯にそしてまた、市民の皆様がいかに付託に応えるのかというなかにおける思いのなかでの議論が、この議場であるいはさまざまな場所においてもそのような議論が交わされたのではないのかなと思っております、この真摯に市政課題に向き合う、そして緊張感を持ちながらスピードとタイミングを間違わないように市民の皆様への負託に応えるということが、やはりこれからはますます大事になってくるのではないのかなということを思っているわけでございます。

この議場におきましても、議員各位にはそれぞれときには言葉をあげたり、さまざまな形でのやりとりがありました。しかし、これは全て遠野市民、遠野市、市民の皆様、そのようななかにおける思いの一つの表れであったということについて御容赦をいただければというように思っているところであります。

これからは遠野市はさまざまな形での大きなまさに正念場を迎えるわけでありませう。

繰り返しますけれども遠野は「場の力」がある、このことを議員各位にも大事にしながら、これからますます厳しくなっていきます行財政事情にどう対応しながら、市民の皆様への安心安全をどう確保するかということが大

事だというように思っておりますので、そういったためにはこの「場の力」を活かし、広域連携とさらにはネットワークというその仕組みを大事にしなければならないかというように思っているところでございますので、その思いの一端を申し上げまして、今議会の最終日にあたりまして議長から発言の機会をいただきましたことを踏まえまして、私の思いの一端を申し上げながら、これからの遠野を、それぞれ「遠野は凄いな」と言われるような、また、言わせしめるようなそのようなまちづくりにしっかりと向き合っていたいただきたいということを心から御期待をし、また、御願いを申し上げまして私の御礼の言葉にさせていただきたいと思っております。

19年6月、本当に議員各位にはお世話になりました。

しかし、まだ1カ月あります。コロナ対応にまさに今までどおり全力に向き合いながら、市民の皆様への安心安全、健康と命と暮らしを守るために市長として全力をあげて取り組んでまいりますことを改めて御誓いを申し上げまして、感謝の言葉にさせていただきます。ありがとうございました。

(拍手)

---

## 閉 会

○議長（浅沼幸雄君） これにて本日の会議を閉じ、令和3年9月遠野市議会定例会を閉会いたします。御苦労さまでした。

午後2時59分 閉会

